

メンタルヘルス不調による休職者への対応 (当社の職場復帰支援の現状について)

大成建設株式会社
管理本部人事部健康管理センター
専任次長 片山 雅裕

1. 大成建設の会社概要

・業種	総合建設業		
・創業	1 8 7 3 年		
・設立	1 9 1 7 年		
・資本金	1, 2 2 7 億円		
・従業員数	8, 5 7 2 名	(2 0 2 1 年 3 月 末)	
・売上高	1 1, 4 4 9 億円	(2 0 2 1 年 3 月 期)	
・本社	東京都新宿区西新宿 1 - 2 5 - 1		
・事業所	国内 1 5 支店、海外拠点 8 営業所		

2. メンタルヘルス対応体制

- ✓本社 健康管理センター
 - 産業医 2名
 - 内、1名は精神科医（非常勤）
 - 保健師 1名
 - EAP相談室専従相談員 2名
 - EAP相談室事務スタッフ 1名
- ✓各支店 管理部管理室
 - 産業医 1名
 - 人事担当者 2名
- ✓社外EAP（民間企業）の支援利用

3. 体調不良者の気付き

- ✓社員本人からの相談
- ✓職場の上司からの相談
- ✓突然出社出来なくなった社員への対応

- 産業医や社外EAPへつなぐ
- 医療機関での受診を勧める
クリニック情報などの提供



4. 制度を理解して休んで療養してもらう

✓ 早めに会社の就業規則上の休職制度等の情報を伝え
理解してもらう⇒「休業・復職の手引き」の利用

➤ 手引きの主な内容

- (1) 病気による欠勤の事務手続き
- (2) 休業出来る期間と給与等の取扱い
- (3) お休み期間中の過ごし方
- (4) 復職に関する手続き



5. 社外EAPの支援の利用

- ✓社員本人が会社の人に話しにくいことでも話せる
(守秘義務の説明)

社員本人の同意が無いと原則会社と情報共有しない

- ✓医療機関での受診の勧め
- ✓復職へ向けての取るべき準備のアドバイス
- ✓管理職が復職後の社員への対応について
アドバイスが得られる



6. 回復して来た時期の対応

- ✓可能な範囲で社内相談員が面談を実施
- ✓生活記録を付けることによる見える化
- ✓起床時刻を意識した生活リズムづくり
- 外出して活動量を徐々に増やす
 - 例えば、図書館などを利用するなど
- 電車やバスなどを利用する通勤訓練



7. リワークプログラムの受講の勧め

- ✓任意（社員本人の意思による）
- ✓目的は再発予防
- ✓就業時をイメージした生活リズムづくり
- ✓継続性と実行性のあるストレス対処法を考える
- ✓自分の対人行動や関係を振り返り、より良いコミュニケーションを学ぶ
- 有料のリワークプログラムを受講した社員への費用の一部補助



8. リハビリ出社（試し出社）の実施

- ✓リワークプログラムの受講終了後すみやかに
- ✓期間は、おおむね4～8週間
- ✓本社健康管理センターEAP相談室と
元の職場や新たな職場を使って実施
- ✓この間で上司や関係者との面談を実施
復職後の配属や業務内容に関して社員本人と相談する
- ✓産業医との面談



9. 復職後のフォロー

- ✓ 産業医や保健師による定期フォロー面談
- ✓ 社外EAPの相談サービスの直接利用
- ✓ 会社で定期開催している社外EAPの派遣カウンセリングの利用
- ✓ 社内相談員との随時面談など



10. 今後の課題

- ✓ 工事現場は全国広く点在している
社員の居住地によっては、全て同じ
ような対応が難しい
- ✓ 現在、専任の社内相談員は男性
女性相談員を誕生させる

